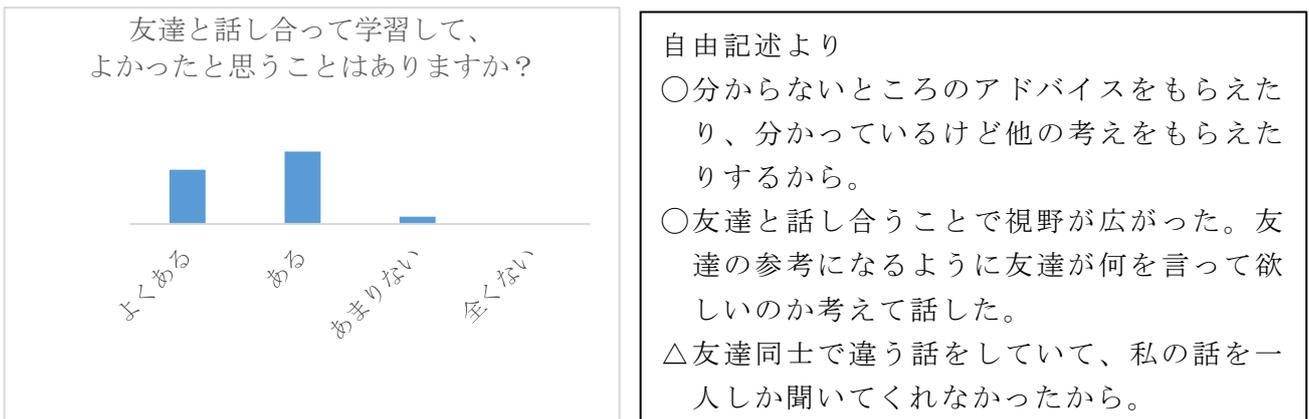


令和4年2月3日（木）第5校時

1 単元名・教材名 事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう
「提案しよう、言葉とわたしたち」

2 児童の実態と本単元の意図

本学級の児童は、授業中一生懸命に取り組む姿が見られるが、反面、自ら進んで自分の考えや思いを表現することは苦手な児童が多い。グループでの話合いでも、自分から進んで発表できる児童となかなか自分の意見を伝えることが難しい児童と二極化している。国語での学び合いについてアンケート調査をしたところ、以下のようになった。



自由記述からも分かるように、児童はグループで話し合うことで自分の考えが広がったり深まったりすることを実感しており、国語に限らず学び合いをすることを好む児童が多い。このような実態を踏まえ、本単元でも学習時にはペアやグループでの対話や交流を多く取り入れ、自分の考えを広げたり深めたりできるようにしていきたい。そして、自信をもって自分の提案をスピーチできるようにしたい。

児童はこれまで、3年生では、「わたしの学校じまん」、4年生では、「調べて話そう、生活調査隊」の学習で、話の中心を明確にし、理由や事例を挙げながら構成を考えて話す力をつけてきた。また、5年生「みんなが過ごしやすい町へ」では、引用したり図表や写真などを用いたりして、自分の考えが伝わるように報告書を書く力、「あなたは、どう考える」では、事実と感想、意見とを区別して意見文を書く力をつけてきた。さらに、「グラフや表を用いて書こう」では、目的に合った資料を選び、資料と対応させて意見文を書く力をつけてきている。本単元では、事例が明確に伝わるように話の構成を工夫したり、資料を提示したりしながらスピーチをする力を身につけ、その力が6年生「今、私は、ぼくは」で資料を使って自分の考えや思いを効果的に伝える学習へとつながっていく。

本単元は、事実と感想、意見とを区別して説得力のある提案を考え、スピーチをする単元である。提案は、提案内容に基づいて実際に行動に移してもらうことが目的であり、そのためには、聞き手に提案を受け入れてもらうことができるように話すことが必要である。そこで、①提案内容が児童にとって身近なものであること、②提案理由が明確であること、③提案内容が実現可能で具体的なものであること、④提案を行動に移したときにどのような利点があるのかを明示することが大切である。また、目的に応じて構成を考えること、説得力を増すために信頼性の高い情報を用いること、さらに、図表を用いて分かりやすくまとめて示すことが必要となっている。そこで、まずは提案という活動の特徴を児童にしっかりと意識させ、最も伝えたい内容が明確になるようにしたい。

また、スピーチの際には、4年生までに身につけてきた言葉の抑揚や強弱、間の取り方などの話すことの技能だけではなく、相手に分かりやすく伝えるための資料の提示も重要である。資料を適切に提示するためには、視線や指示の仕方など、聞き手を意識して、表現を工夫することが必要である。そこで、本単元では3つの手立てをとり、学習を進めていきたい。

まず、児童が主体的に学ぶことができるよう、導入部を工夫する。児童が主体的に学ぶためには、提案をしたいという意欲や自分が提案をすることで周囲がよりよくなっていくという思いをもたせることが必要である。また、本単元は、毎日何気なく使っている言葉が題材として取り上げられている。今回は単元の副題として、「レベルアップ篠津小 Part 2」とし、児童が日常における言葉の使い方について課題だと感じる話題を選べるよう、また自分事の課題として考えられるようにする。その際、自分自身の課題なのか、学級の課題なのか、学校全体の課題なのかなど、誰にとっての課題なのかも併せて考えさせ、提案相手について児童自身が考えられるようにしたい。さらに、提案の際に提示する資料については、Google スライドで作成するか、画用紙で作成するかを児童に選択させる。どちらにも一長一短があるため、どのようなねらいでどちらを選択するのか、児童に考えさせていきたい。

次に、事実と感想、意見の違いを明確にできるように、提案の内容や構成を考える際にワークシートを活用し、付箋に自分の意見をまとめさせたスピーチメモを作成させる。色分けをした付箋を活用することで、児童が提案の構成を意識することができる。また、まとめたものをもとに学び合いの時間を確保し、提案内容と現状の問題点、提案の理由と根拠や、用意した資料などの整合性が取れているかを考えさせる。さらに、スピーチメモには発表をする際のポイントや注意点、友達からのアドバイスなどを書き込めるようにし、児童の思考の過程が分かるようにする。

さらに、自分の考えが伝わる提案になるよう、スピーチの練習はグループごとにタブレット端末で動画撮影を行う。グループでの学び合いや動画を見て、自分自身を振り返る時には、声の強弱や話す速さ、間の取り方などの既習事項だけではなく、視線や指示の仕方、資料を提示するタイミングや時間、聞き手の反応などに着目するといった視点を与える。友達からのアドバイスだけではなく、動画で自分自身を客観的に振り返る機会を与えることで、資料を活用して自分の考えが伝わるように表現を工夫するという意識を児童にもたせたい。

3 単元の目標

- (1) 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすることができる。 〈知識及び技能〉(1)オ
- (2) 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉A(1)イ
- (3) 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉A(1)ウ
- (4) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

4 本単元における言語活動

毎日の生活での言葉の使い方について、課題だと感じることを解決するための提案をする。 (関連：言語活動例ア)

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。	①「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ②「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。	①粘り強く、事実と感想、意見とを区別するなど話の構成を考え、今までの学習を生かしながら言葉の使い方についての提案をしようとしている。

6 指導と評価の計画 (全7時間扱い)

時	主な学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価
1	○単元の学習課題を確認し、学習計画を立てる。 ○今までの学習を振り返り、スピーチの仕方学んだことや説得力をもたせるためにできることについて話し合う。	○単元の見通し ○説得力のあるスピーチの仕方 ・視線 ・指示の仕方 ・資料を提示するタイミングや時間 ・聞き手の反応	○既習事項を確認し、スピーチのために、どのような工夫ができるか考えさせる。

		<ul style="list-style-type: none"> ○説得力をもたせるためにできること ・表やグラフの活用 ・数値の提示 ・自分の経験や体験談の提示 ・調べたことやインタビューの提示 ・反論の提示 	
2	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の生活での言葉の使い方について、課題だと感じることを話し合う。 ○言葉の使い方について自分が提案したいことを決める。 ○提案をするための構成を理解し、提案の根拠となる情報を集める方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○言葉の使い方についての課題 ○提案の構成 <ul style="list-style-type: none"> ・提案 ・提案のきっかけ ・提案内容 ・現状の問題 ・提案の理由と根拠 ・まとめ ○情報の集め方 <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート ・インタビュー ・本や新聞 ・インターネット 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童が日常における言葉の使い方について課題だと感じる話題を選べるよう、また自分事の課題として考えられるようにする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチの内容を考え、情報を集める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○提案の構成 <ul style="list-style-type: none"> ・提案 ・提案のきっかけ ・提案内容 ・現状の問題 ・提案の理由と根拠 ・まとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ワークシートと付箋を活用して考えをまとめさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【思考・判断・表現①】 <u>ワークシート</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある提案になるよう、特徴を意識しながら提案を構成しているかを確認する。 </div>
4 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチの内容や構成を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○説得力のある提案にする方法 <ul style="list-style-type: none"> ・事実と感想、意見の違いの明確化 ・効果的な資料 	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な角度から提案について考えられるよう、グループでの学び合いを取り入れる。

			<p>【思考・判断・表現①】 <u>ワークシート</u> ・説得力のある提案になるよう、提案内容を見直しているかを確認する。</p>
5・6	<p>○スピーチの準備をする。</p> <p>○スピーチの練習をする。</p> <p>○スピーチを見合い、互いに助言する。</p>	<p>○資料の作成の仕方</p> <p>○事実と意見、感想の文末表現</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>練習の様子（映像記録、観察、振り返り）</u> ・他者との交流や映像記録の確認を通して、説得力のある提案になっているかどうか見直そうとしているかを確認する。</p> <p>【知識・技能①】 <u>練習の様子（映像記録）、観察、振り返り</u> ・思考に関わる語句を提案の中で使っているかを確認する。</p>
7	<p>○説得力を意識しながらスピーチを行い、感想を伝える。</p> <p>○単元を振り返り、今後への生かし方を考える。</p>	<p>○説得力のあるスピーチの仕方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視線 ・指示の仕方 ・資料を提示するタイミングや時間 ・聞き手の反応 <p>○振り返りの仕方</p>	<p>【思考・判断・表現②】 <u>発表（映像記録）、観察</u> ・資料を活用しながら、自分の考えが伝わるように表現を工夫して提案をしているかを確認する。</p>

7 本時の学習指導（本時4／7時）

(1) 目標

- 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えることができる。 〈思考力、判断力、表現力等〉 A (1) イ

(2) 評価規準

- 「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 【思考・判断・表現】

(3) 展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時
1 前時の学習内容を振り返り、本時の課題を知る。	○学習課題の把握	○前時の学習内容を想起し、本時の見通しをもたせるとともに学習への意欲付けを行う。	2
より説得力のある提案にするための視点を学びに、スピーチメモを見直そう。			
2 モデルを見て、説得力をもたせるためにどんな工夫をしたらよいか、助言を考え、話し合う。	○助言の仕方	○モデル文を配付し、構成や内容に着目させて話し合いをさせる。内容については具体的にどのようなことを入れるとよいのか具体的に考えさせる。また、考えたものが、事実になるのか意見になるのかについてもあわせて考える。	15
<p><期待される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験談を入れる。 ・そう考えるようになったきっかけを入れる。 ・提案が書いてある画用紙・スライドを用意する。 ・聞き手に呼びかける文を入れる。 			
3 スピーチメモを基に、より説得力をもたせるために考え、話し合う。 ・個人→グループ	○構成、内容の見直し	<p>【思考・判断・表現①】 ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説得力のある提案になるよう、提案の構成や内容を見直している児童を B とする。 <p>〈「努力を要する」状況 (C) への手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より説得力をもたせるために、提案の理由と根拠の部分に着目させ、どのような資料を提示すると効果的か考えさせる。 	20

<p>4 本時のまとめをする。</p>			5
<p><期待される児童のまとめ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成を工夫すると、より説得力のある提案になる。 ・話す内容と資料を一致させると、より説得力のある提案になる。 ・自分の具体的な体験談を入れると、より説得力のある提案になる。 		<p>○型を示し、より説得力のある提案にするために何をするとよいと考えて見直しをしたのか、それぞれの言葉でまとめさせ、数名の児童に発表させて全体のまとめとする。</p>	
<p>5 学習の振り返りをする。</p>			3
<p><期待される児童の振り返り></p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんが体験談を入れたほうが良いというアドバイスをしてくれたおかげで、より説得力のある提案になりました。構成や内容がしっかり準備できたので、説得力のある話し方ができるよう、準備をしたいと思います。 		<p>○本時の学習を通して説得力のある提案になるよう見直しすることができたか、それはどのようなきっかけだったかなどを振り返らせる。</p>	